

かとうぜきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成23年9月1日号 (No.74)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

今回は、平成23年7月新潟・福島豪雨の様子等についてお知らせします。

平成23年7月新潟・福島豪雨について

平成23年7月27日から30日にかけて、新潟県上空に停滞していた前線が活発化し、新潟県・福島県に多量の雨を降らせました。魚野川では観測史上最大の水位を記録するなど各地で水位が上昇し、洪水被害が発生しました。

大河津分水へは川幅一杯に水が流れました (30日7時頃)



越後線橋梁では水位が橋桁近くまで上昇し、地元消防団等による水防活動が実施されました (左岸・30日11時頃)

大河津地点では30日12時頃に水位のピークを迎えました。信濃川本川下流側への影響を抑えるため、29日から31日にかけて洗堰のゲートを全閉し、上流からの洪水を全て分水路に流しました。

洗堰はゲートを全閉し、下流への放流をゼロにしましたが、刈谷田川等の増水により分水公園も浸水しました (30日8時頃)

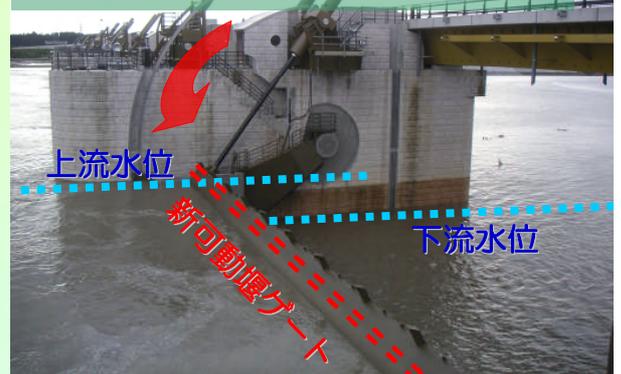


信濃川下流でも水位が上昇しました。洗堰ゲートを全閉していなければ危険性が更に増していたと考えられます。(小須戸橋・30日午後)

水没した可動堰工事現場 (31日)



ゲートを全閉し、水位を維持している状況 (31日18時頃)



新可動堰の工事現場も29日未明に浸水ははじめ、激しい洪水によって固定堰の機能を兼ねた仮締切の一部流出、現場内の土砂掘れや堆積などの被害を受けました。仮締切が流出したことで堰上流部の水位維持ができなくなり、信濃川本川や西川から取水している農業用水等に支障が生じる恐れがあったため、最終調整中の新可動堰ゲートを急遽閉め、水位維持を行っています。仮締切を復旧した後に再度工事現場内の水を排水し、ゲート本体や操作機器の最終調整を実施します。



仮締切復旧工事の様子 (16日)

右岸側の工事に着手します

8月に新たに『大河津可動堰改築右岸上流護岸他工事』が契約となりました。本工事では、11月の新可動堰通水後に現可動堰の周囲を締切り、右岸側の高水敷の造成と、現可動堰の撤去を行います。



工事担当者からのごあいさつ

この度、新可動堰の築造に伴い、昭和6年に竣工した現可動堰の解体及び護岸工事を行う福田組です。80年の長きにわたり越後平野の暮らしと安全を守り続けた可動堰を解体する事は、大変な努力で建設に従事された諸先輩方のご苦勞を考えると身の引き締まる思いとともに、大変名誉に感じる次第であります。先人の技術者に恥じぬように関係者一同工事の完成に向けて、誠心誠意現場を運営して行きます。地域の皆様方にはご迷惑をお掛けしますが、どうぞ宜しくお願いします。



現場代理人 木村 憲二郎 監理技術者 戸松 立也

現在は右岸側に偏っている大河津地点の低水路（普段水が流れるところ）ですが、新可動堰通水後は堤防間の中央を流れます。右岸側に高水敷をつくることで右岸堤防の安定性を高めま。また、現可動堰は一門のみ残置し、歴史的な土木施設を後世に伝承します。

街を守る川の施設

出水時は、大河津可動堰だけでなく、大小様々な施設が街を水害から守っています。大河津分水の五千石排水樋管等、用排水のため堤防を貫通して設置された「樋管」もその一つです。出水時には地域に住む担当操作員さんが樋管のゲート进行操作して、河川から市街地への水の逆流を防止したり、市街地に溜まった水を排水したりします。7月末の出水時にも、操作員さんが昼夜を問わず操作にあたり、水害を抑制しました。操作員さんを代表して、五千石排水樋管の操作員さんよりごあいさつを頂きましたので紹介します。



五千石樋管操作員・小越様

大河津橋の下流側、五千石排水樋管の操作員を10年間担当しています小越です。

地元の大先輩から職務を引き継いで3年後の6月、初めて真夜中の出水の連絡が入りました。用排水路の水位はどうなっているか、樋管を閉鎖しても街からの排水は可能か、その際田畑や人家は浸水しないだろうか、様々な事情を勘案して短時間で判断することは非常に難しいものでありました。その後も、その夜の緊張感を忘れずに、心と時間とに余裕を持つ大切さを自覚しています。

ある先輩に教わったことを今でも覚えています。出水時は、川の中央部分が高くなるほど水高が多くなると聞いています。

日頃の水位観測を通じ、樋管の大切さと、水害の恐ろしさを感じています。

大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧頂けます。また、バックナンバーも合わせてご覧頂けます。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。

0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121 (建設監督官在所)

大河津出張所 : 大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等

建設監督官(可動堰改築担当): 大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>